

スイートコーンの生育ステージ おすすめ液肥

ステージ

出芽期

3-4葉期

5-6葉期

7-8葉期

9-10葉期

11-14葉期

出穂受粉期

登熟期

作物の様子(養分吸収状況)

成長に必要な養分を
種子(胚乳)から供給

根から養分吸収開始

成長点が地上に上がる
成長は穏やかで養分吸収量も
少ない

栄養成長が急激に高まる
幼穂形成開始

栄養成長継続
茎に雌穂が観察されるようになる
窒素・カリの吸収ピークに

出穂期
雄穂→1~2週間後開花
雌穂→雄穂開花1~3日で絹糸出現

絹糸抽出とほぼ同時に雄穂から
花粉が放出され受粉が行われる

リン酸の吸収がピークに
(全吸収量の半分以上)
窒素・カリの吸収も
再度ピークに
(特に水熟期~糊熟期)

備考とポイント

スイートコーン種は
胚の蓄積養分(デンプン)が少ない

成長点は地下にあるため、
霜害のダメージを受けても
回復の可能性あり
バリカタ!、サカタ液肥GB
はこの時期に



草丈は40cm程度まで成長

この時期以降に日照不足、低温や養分
欠乏に遭遇すると雌穂の形成に影響が
出やすい
ALA-FeSTA 有効、窒素・カリ追肥の
タイミング



茎葉のボリューム、草丈、雌穂の大きさ
と粒列数、子実数が決まる
バリカタ! 有効(~登熟期)



草丈は最高に
雄穂の開花期は約10日、雌穂の絹糸の受精能力も
抽出から約10日持続する(環境ストレスで短くなる)、
窒素・カリ追肥のタイミング

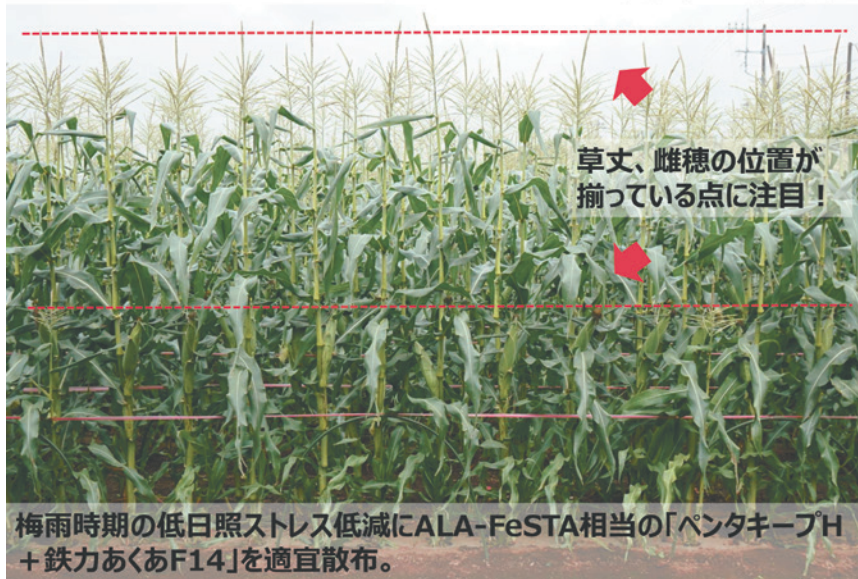
干ばつなどで絹糸の抽出が遅れた場合には花粉の
放出が先に終わり、不稔となる

根の活力低下を見越して、
ホストップ(止め肥は
ホスカル)の葉面散布を
活用する



高機能液肥活用例

品種：ゴールドラッシュ90 千葉県（2017年）当社調べ



品種：ゴールドラッシュ90 千葉県（2017年）当社調べ



品種：ゴールドラッシュ90 千葉県（2017年）当社調べ

